

静岡県東部地域の医療提供体制の現状と課題 ～これからの駿東・三島田方地域に求められているもの～

静岡県地域医療構想アドバイザー
浜松医科大学 地域医療支援学講座

竹内 浩視

e-mail : hrmt2018@hama-med.ac.jp



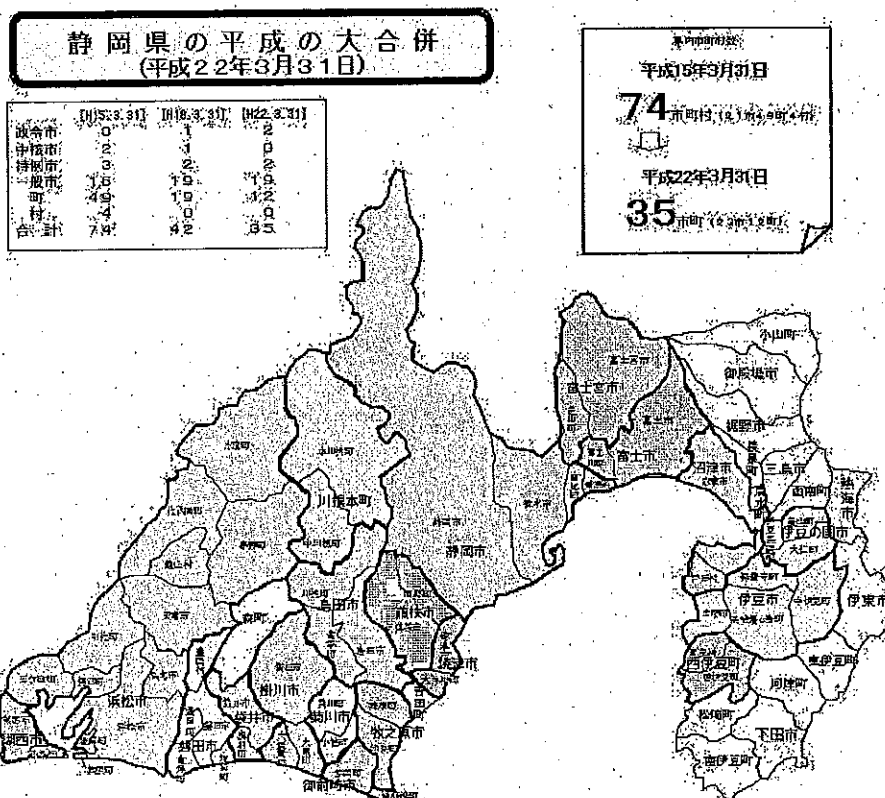
地域医療支援学講座
Dept. of Regional Medical Care Support

本日の論点

- 静岡県東部地域における医療提供体制の現状と課題を改めて見直し、以下について検討する。
- 人口推計や医療・介護需要の推移を踏まえると、今後、東部地域でどのような医療が必要か。また、現状の医療提供体制と整合が取れているのか。
- 医療従事者の働き方改革が本格導入される中で、現状の医療提供体制は維持できるのか。
- 今後、東部地域に必要とされる医療に対する専門性を有する医師をどのように確保・育成し、定着につなげていくのか。

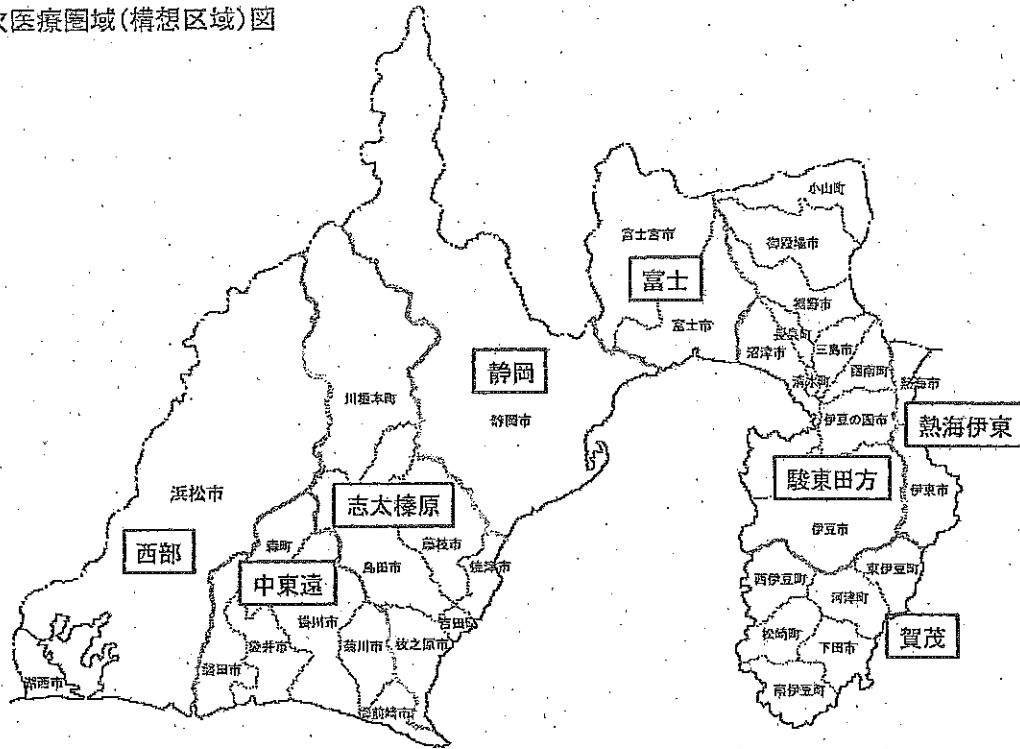
本日の内容

- 駿東・三島田方地域の背景
- 駿東・三島田方地域の医療・介護需要予測
- 駿東・三島田方地域の医療提供体制(施設)
- 駿東・三島田方地域の医療提供体制(医師数)
- 駿東・三島田方地域の医療提供体制(医療機能)
- 地域医療構想と医療提供体制のパラダイムシフト
- 受療者側の取り組み
- 今、駿東・三島田方地域に求められていること



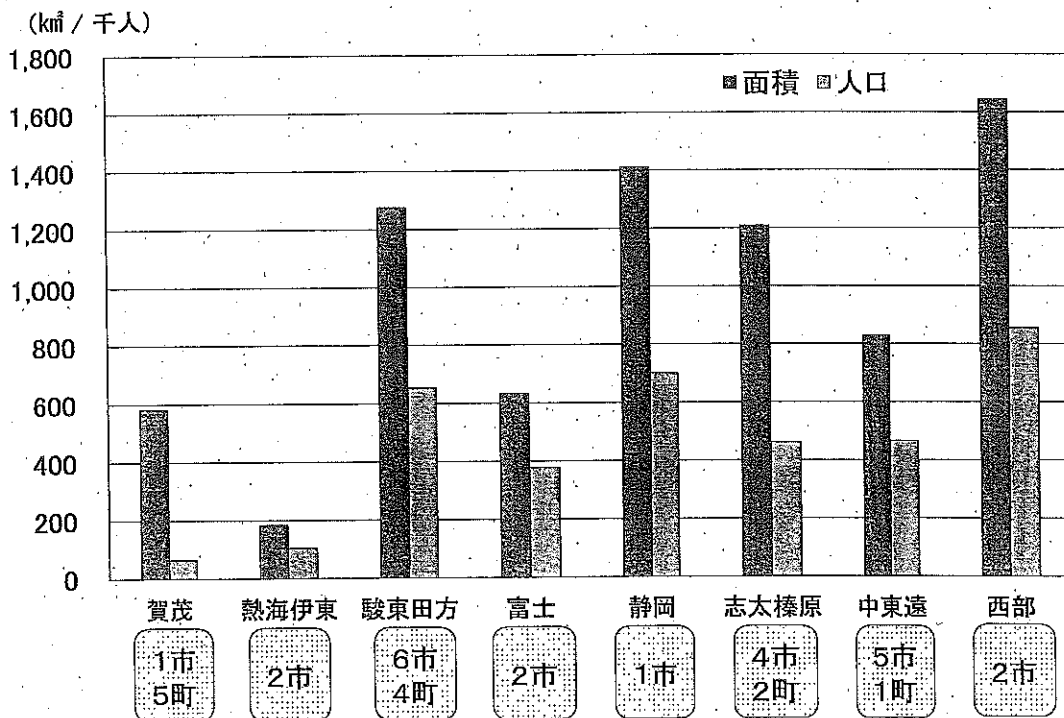
出典：静岡県経営管理部地域振興課「県内市町村合併の状況」

二次医療圏域(構想区域)図



出典: 静岡県健康福祉部「第8次静岡県保健医療計画」

二次保健医療圏の面積と人口



静岡県健康福祉部「第8次静岡県保健医療計画」を基に作成

静岡県における高齢化と要支援・要介護認定率

圏 域	高齢化率(%)	認定率(%)
賀 茂	44.0%	16.3%
熱海伊東	43.3%	16.1%
駿東田方	28.7%	14.4%
富 士	27.8%	15.7%
静 岡	29.7%	17.8%
志太榛原	29.6%	15.0%
中 東 遠	26.8%	15.2%
西 部	27.5%	16.9%
全 県	29.1%	16.0%

※ 高齢化率は、総務省統計局「国勢調査結果」による2017年10月1日現在の総人口（年齢不詳を除く）・高齢者人口の推計数から算出。

※ 要支援・要介護認定率は、厚生労働省「介護保険事業状況報告」による2017年9月末の第1号被保険者の認定者数を第1号被保険者数で除した率。

静岡県健康福祉部「静岡県長寿者保健福祉計画」を基に作成



地域医療支援学講座
Dept. of Regional Medical Care Support

訪問診療と介護サービスの利用状況（2018.4）

○2018(平成30)年4月に訪問診療を利用した人のうち、介護サービスを利用していた人数(県計)は13,924人、併用率は92.7%となっている。

○訪問診療の利用者の介護度は総合事業対象者から要介護5と幅広く、要介護1以下が26.1%、要介護2～4が20%前後、要介護5が16.3%となっている。

	利用者数	介護サービス併用なし	介護サービス併用あり							併用率
			要支援以下	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
賀茂	385	32	353	15	52	95	68	60	63	91.7%
熱海伊東	740	35	705	38	143	146	115	142	121	95.3%
駿東田方	2,940	265	2,675	202	550	515	478	528	402	91.0%
富士	1,451	63	1,388	68	216	269	281	293	261	95.7%
静岡	3,383	151	3,232	129	617	630	595	674	587	95.5%
志太榛原	1,560	112	1,448	75	253	265	290	294	271	92.8%
中東遠	1,319	151	1,168	45	243	245	205	234	196	88.6%
西部	3,240	285	2,955	145	847	533	488	567	375	91.2%
県計	15,018	1,094	13,924	717	2,921	2,698	2,520	2,792	2,276	92.7%

平成30年度 第1回 地域包括ケア推進ネットワーク会議（平成30年11月9日）資料から抜粋



地域医療支援学講座
Dept. of Regional Medical Care Support

まとめ (1)

- 東部地域は市町の数が多く、規模が比較的小さい。
- 医療は規模が小さい市町では完結できない。
- 介護は規模に関わらず、市町が保険者として独立。
- 超高齢社会では医療と介護の切れ目がない。

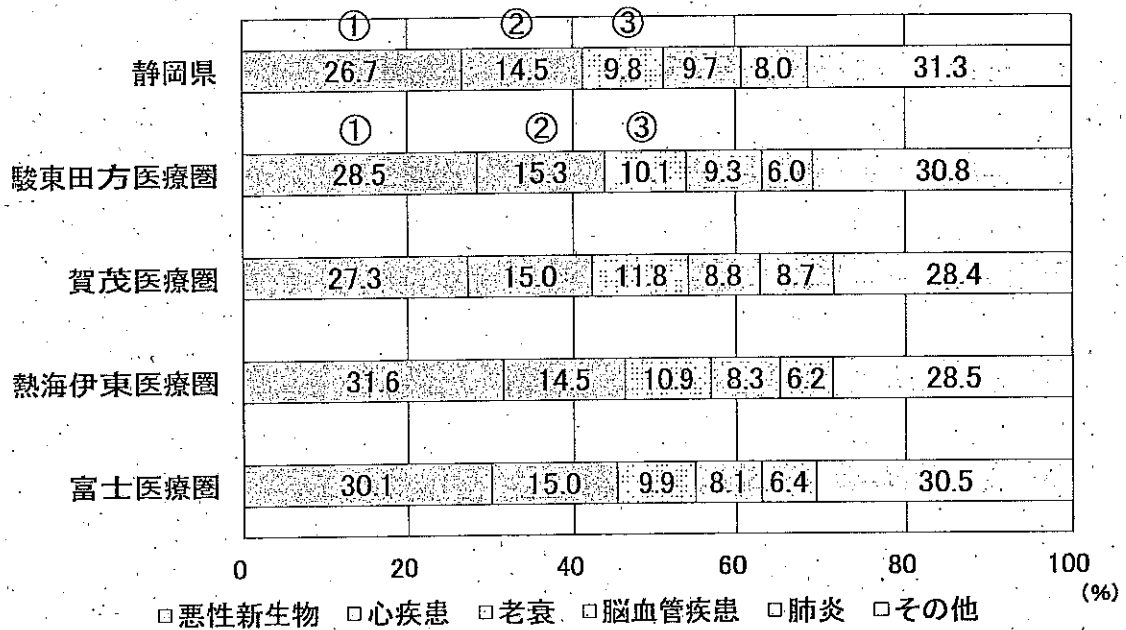


人口減少局面にある超高齢社会では、切れ目のない医療と介護に対応するため、市町単位で解決困難な課題に対して、中・長期的な視点から、各事業者の取り組みとともに、市町や医療・介護関係者の協働による広域的な取組が求められる。

本日の内容

- 駿東・三島田方地域の背景
- 駿東・三島田方地域の医療・介護需要予測
- 駿東・三島田方地域の医療提供体制(施設)
- 駿東・三島田方地域の医療提供体制(医師数)
- 駿東・三島田方地域の医療提供体制(医療機能)
- 地域医療構想と医療提供体制のパラダイムシフト
- 受療者側の取り組み
- 今、駿東・三島田方地域に求められていること

静岡県東部地域における死因別順位と構成割合

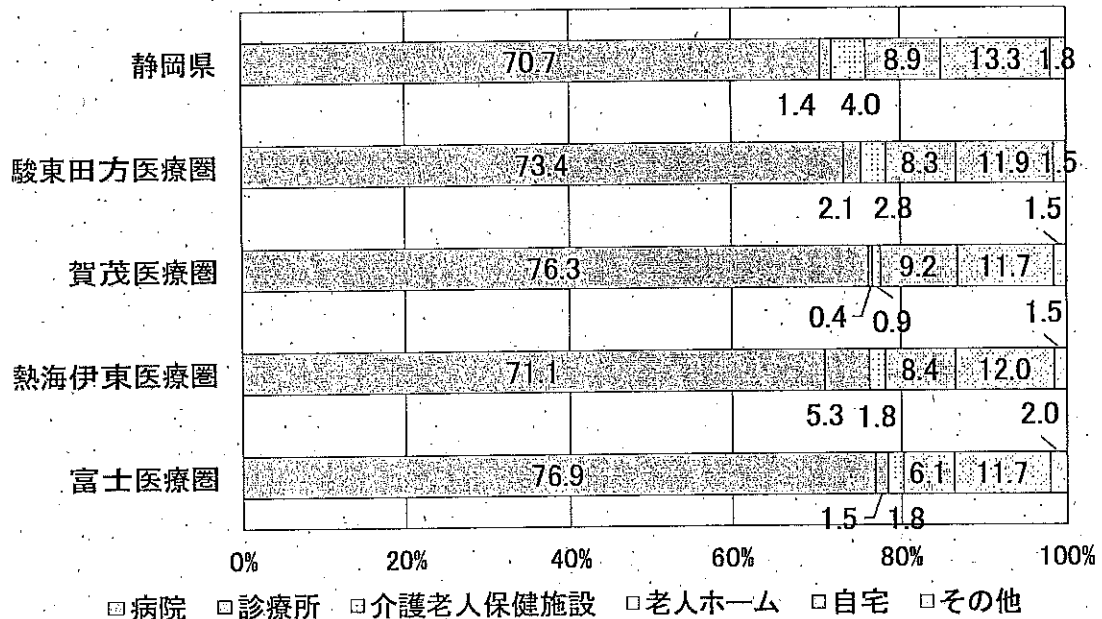


静岡県健康福祉部「第8次静岡県保健医療計画」を基に作成



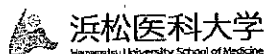
地域医療支援学講座
Dept. of Regional Medical Care Support

静岡県東部地域における死亡場所別構成割合



※ 老人ホーム: 養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム
※ 自宅: グループホーム、サービス付高齢者向け住宅を含む

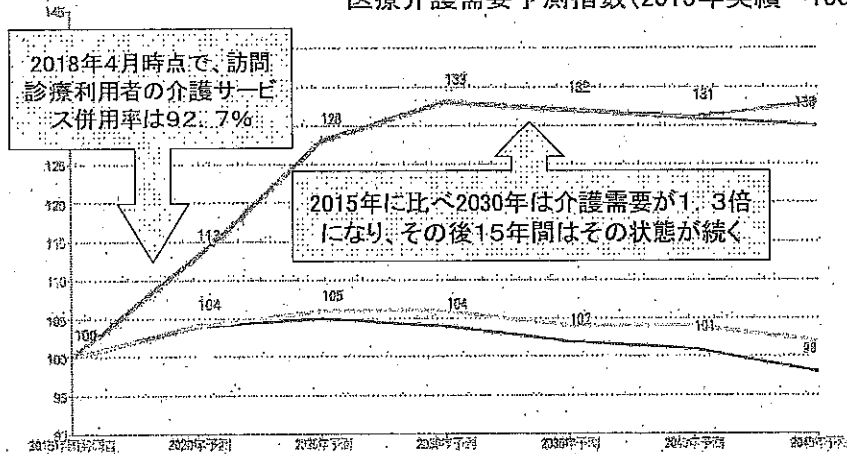
静岡県健康福祉部「第8次静岡県保健医療計画」を基に作成



地域医療支援学講座
Dept. of Regional Medical Care Support

静岡県の医療・介護需要予測

医療介護需要予測指数(2015年実績=100)



圏域や市町により
需要予測が大きく
異なるため、各々
の圏域や市町の
需要予測を確認
し、事業計画の
見直し等の必要
がないか確認を!

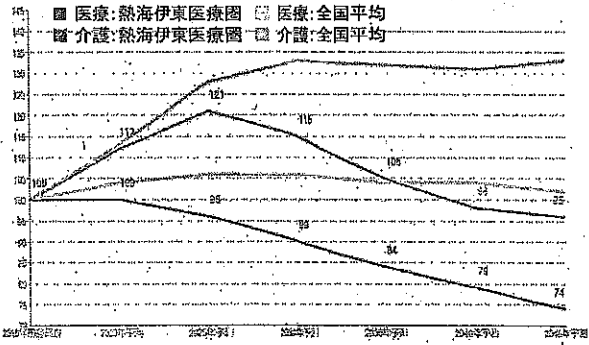
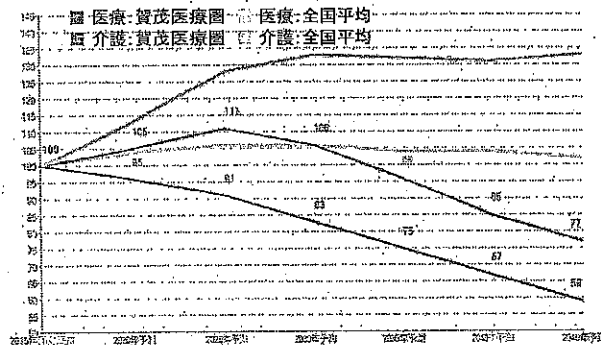
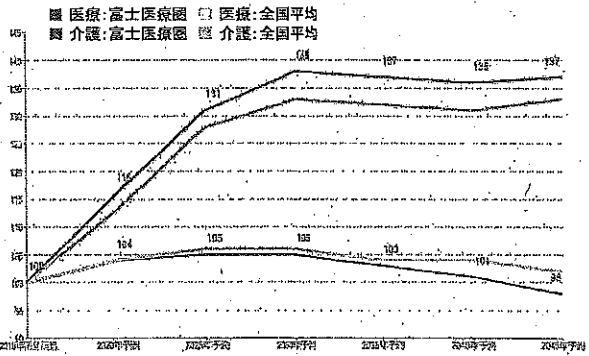
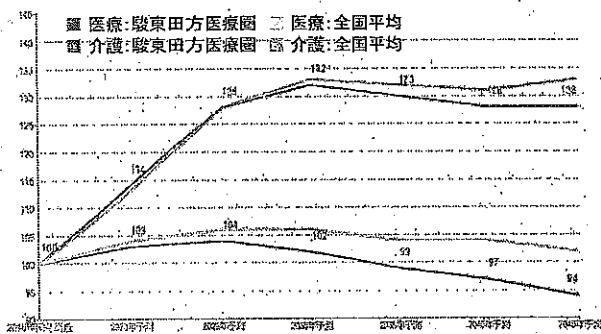
■ 医療:静岡県 □ 医療:全国平均
■ 介護:静岡県 □ 介護:全国平均

	2015年 国勢調査	2020年予測	2025年予測	2030年予測	2035年予測	2040年予測	2045年予測
医療	100	104	106	106	104	104	102
介護	100	113	128	133	132	131	133

出典: 日本医師会ホームページ「地域医療情報システム」静岡県

静岡県東部地域(4医療圏)の医療・介護需要予測

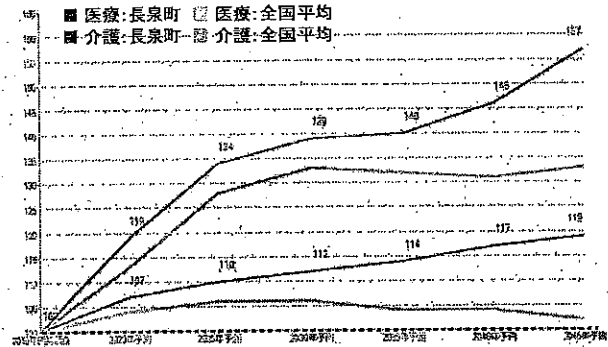
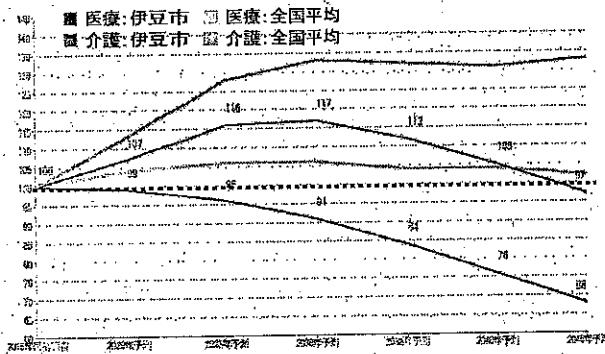
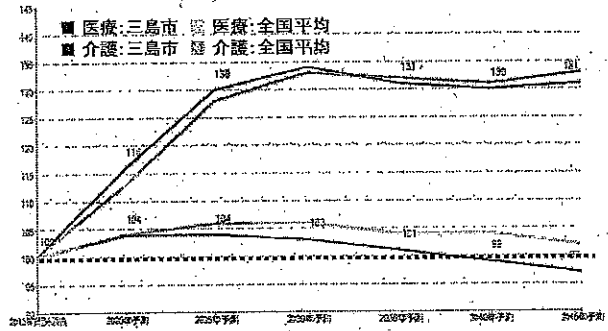
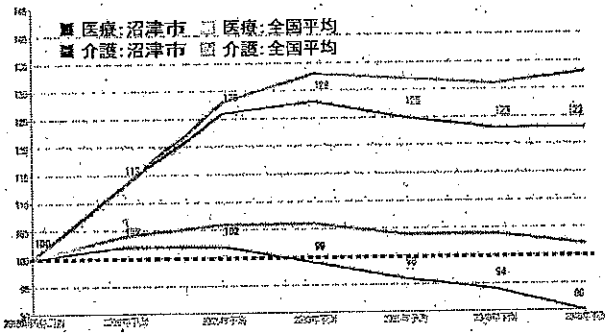
医療介護需要予測指数(2015年実績=100)



出典: 日本医師会ホームページ「地域医療情報システム」静岡県 賀茂・熱海伊東・駿東田方・富士の各医療圏

駿東田方医療圏内の4市町における医療・介護需要予測

医療介護需要予測指数(2015年実績=100) -----



出典：日本医師会ホームページ「地域医療情報システム」、静岡県 沼津市・三島市・伊豆市・長泉町



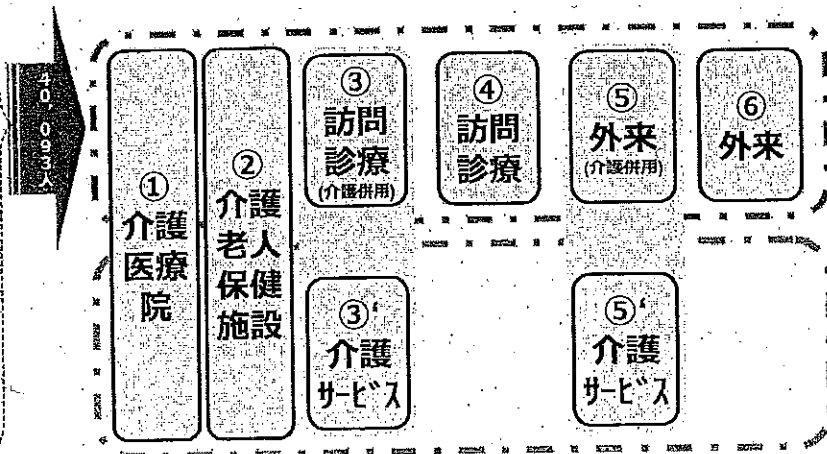
地域医療支援学講座
Dept. of Regional Medical Care Support

介護施設・在宅医療等の必要量に対する受け皿のイメージ

- 2025年の在宅医療等の必要量40,093人の受け皿（提供体制）として、医療と介護の両面から提供体制をつくる必要がある。
- 医療の提供は在宅医療との必要量と同様40,093人分必要となる ⇒ ①～⑥の合計が40,093人
- 介護の提供は在宅医療等の必要量のうち、介護を必要とする人の分を見込むこととなり、合計は必ずしも40,093人とはならない
- 医療と介護の両方を必要とする人に訪問診療や外来で医療の提供をする場合は、それに対応した介護サービス(訪問介護、訪問看護等)の提供も必要となる ⇒ 「③+④」、「⑤+⑥」

【地域医療構想】
(2025年必要量)

療養病床 (区分1:0.70%) 5,605人 一般病床C3未満 1,897人
介護老人 保健施設 15,486人
訪問診療 17,305人

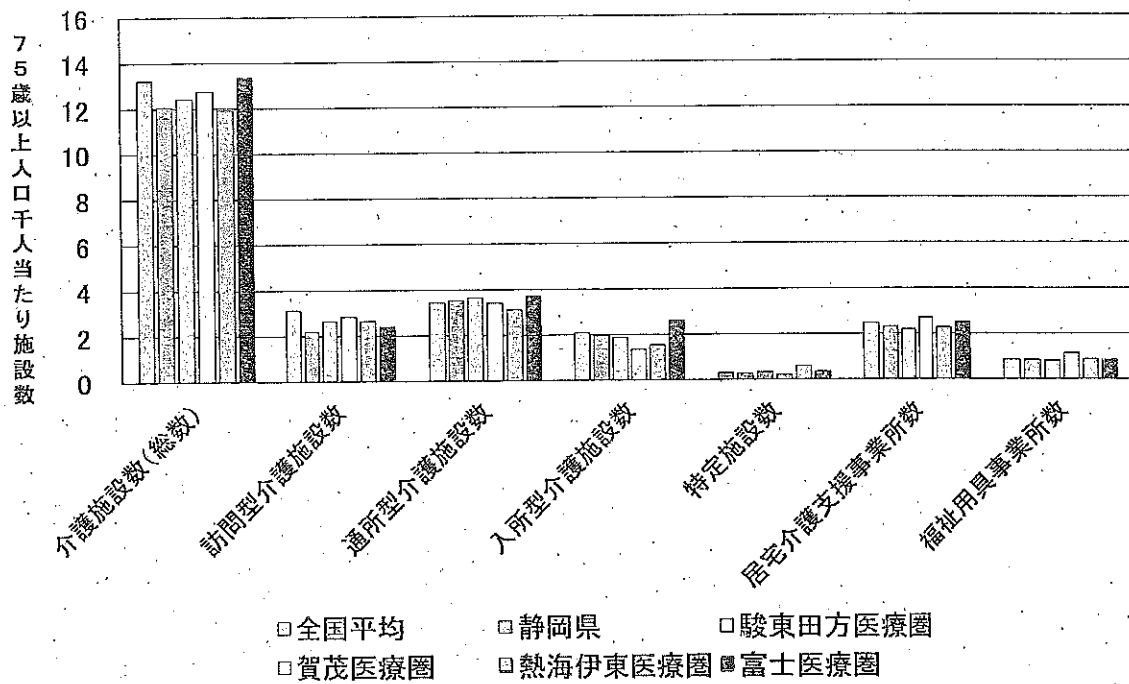


平成30年度 第1回 地域包括ケア推進ネットワーク会議（平成30年11月9日）資料から抜粋



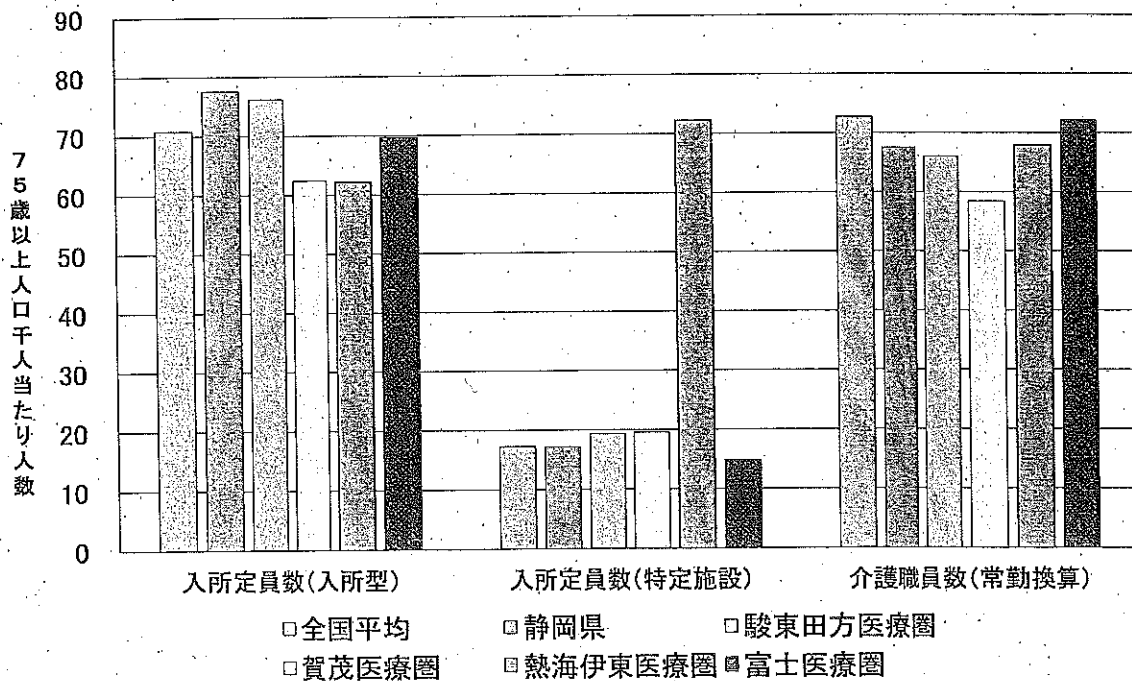
地域医療支援学講座
Dept. of Regional Medical Care Support

静岡県東部地域の介護施設・介護職員の状況（1）



出典：日本医師会ホームページ「地域医療情報システム」静岡県 駿東田方・賀茂・熱海伊東・富士の各医療圏

静岡県東部地域の介護施設・介護職員の状況（2）



出典：日本医師会ホームページ「地域医療情報システム」静岡県 駿東田方・賀茂・熱海伊東・富士の各医療圏

まとめ (2)

- 医療需要は、高齢化率が高い地域では今後急速に減少する。高齢化が比較的高くない地域でも、当面横ばい傾向であるが、中・長期的には減少する。
- 人口が減少している市町でも、介護需要は当面増加する。
- 医療には、「治す医療」と「支える医療」の2つの側面がある。
- 通院困難な患者は、ほとんどが介護サービス利用者である。



今後は、急性期医療の需要が減少する一方、高齢者への医療・介護サービスの提供体制の確保が求められる。限られた医療資源で対応するためには、細分化した高度・専門医療は地域の拠点病院に機能集約し、在宅や療養病床・介護施設の高齢者を総合的に診療できる体制が求められている。

本日の内容

- 駿東・三島田方地域の背景
- 駿東・三島田方地域の医療・介護需要予測
- 駿東・三島田方地域の医療提供体制(施設)
- 駿東・三島田方地域の医療提供体制(医師数)
- 駿東・三島田方地域の医療提供体制(医療機能)
- 地域医療構想と医療提供体制のパラダイムシフト
- 受療者側の取り組み
- 今、駿東・三島田方地域に求められていること